

# 市政に対する一般質問一覧表

令和4年第2回定例会

質問順位 1

議席番号 2番

氏名 久保田 隆 二

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>当市における財政状況の発信・分析について</p> <p>急激に変化する社会情勢の中で、地方自治体においても、時代に合った政策立案が必要となります。その際、まずは財政状況を知り、事業分野毎の予算をどの立場においても、マクロ・ミクロ視点から捉えることが求められると考え、当市における財政状況の発信・分析について次のとおり質問いたします。</p> <p>(1) 財政状況の発信について</p> <p>(2) デジタル予算書について</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
<p><b>経済問題</b></p>	<p>物価高騰対策について</p> <p>深刻な原油価格・物価の高騰によって、住民のくらしと様々な営業が打撃をうけている。国による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）」を活用することを含め、対策に取り組むべきと考えることから、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 給食費値上げ抑制に交付金を活用し、保護者の負担軽減をはかることについて</li> <li>(2) 生活困窮者・低所得者に対する支援について</li> <li>(3) 省エネ機材等への買い替えに対する補助金の支給について</li> <li>(4) 燃料費・資材・飼料などの高騰への支援策について</li> </ol>
<p><b>行政問題</b></p>	<p>再任用制度について</p> <p>地方公務員法の一部を改正する法律が令和3年6月11日に公布され、令和5年4月1日より施行される。定年引上げに伴う再任用のあり方について次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度から現在の再任用職員も含め、すでに国・県が実施している65歳までの定年制を実施すべきと考える。当市の見解を伺う。</li> <li>(2) 給与体系や処遇改善について伺う。</li> <li>(3) 複雑高度化する行政課題への的確な対応など、能力と意欲のある高齢期の職員を最大限活用しつつ次の世代にその知識、技術、経験を継承していくという観点から人事配置や組織のあり方について伺う。</li> </ol>
<p><b>平和問題</b></p>	<p>非核平和都市宣言について</p> <p>地方自治体が世界の恒久平和の実現を願って、核兵器の廃絶を求める立場を表明する「非核平和都市宣言」を三沢市としても行うべきと考える。令和4年5月22日現在全国1788自治体中、宣言自治体は1657自治体で92.7%にも及んでいる。</p> <p>青森県内では40自治体中、38自治体が宣言し、10市では、三沢市を除く9市が宣言をしている。三沢市としても宣言すべきと思うが当市の見解を伺う。</p>

質問順位 3

議席番号 5番

氏名 田嶋孝安

質問方式 一問一答 質問時間 5分

質問事件	質問の要旨
病院の通信環境問題	三沢市立三沢病院のWi-Fi環境について 患者及び来院者満足度の向上と患者及び家族サービスの充実を図るため、院内にWi-Fi環境を整備する考えがないか。

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. 米軍三沢基地からの消火用水流出に起因した有害物質汚染に係る対応について</p> <p>今年1月3日に、米軍三沢基地内から有機フッ素化合物（PFOS）を含んだ水が漏れ出し、その一部が姉沼へ流れ込んだ事故では、未だに基地内のため池などで、環境省の暫定指針値を上回るPFOSの残留が確認されており、国、県、三沢市で姉沼から小川原湖に注ぐ水路の水質検査を実施している状況である。</p> <p>PFOSは低濃度での健康上の危険性が指摘されており、環境中で分解しにくい物質でもあることから、基地からの流出が続いた場合、姉沼、小川原湖の水産資源への影響や観光分野を含めた風評被害が懸念されるため、専門家を交えた調査、対策の体制が必要と思われる。</p> <p>そこで、次の2点について、現状および三沢市の姿勢をお答え願います。</p> <p>(1) 三沢市が把握している環境汚染の状況と、それに係る対応計画について</p> <p>(2) 環境分析、拡散・流況調査などの専門・有識者を中心とした環境影響対策組織などを設置する考えはないか</p> <p>2. ウクライナ避難民受け入れの体制と状況について</p> <p>ロシアによるウクライナ侵攻による避難民について、日本政府は日本に入国している避難民の受け入れを申し出た自治体や企業とのマッチングを進めており、三沢市でも、4月に自治体としての受け入れに手を挙げ、その支援内容の検討や関係団体との調整など準備を進めている。</p> <p>三沢市は国際文化都市として長年政策展開しており、今般においても人材や設備面などの避難された方々への支援は、他地域に比べて貢献できるものと期待されるが、一方で女性や子供が多いなど避難民の実情に合わせた特別な支援が必要と思われる。</p> <p>そこで、次の2点について、三沢市の姿勢をお答え願います。</p> <p>(1) 三沢市の避難民受け入れ体制の内容と現在の受け入れ状況について</p> <p>(2) 学校の授業など教育環境における言葉の壁の解消に係る対応について</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. 高校3年生までの医療費助成について  子育て世代の方々より「高校生は活動範囲が広がり、ケガや病気のリスクが高まる。進学など教育費もかさむことから、中学3年生までとしている医療費助成の対象を高校3年生まで拡充してほしい」との痛切な声が届いています。  子育て支援のさらなる充実のためにも前向きに検討すべきです。市長のご見解をお伺いします。</p> <p>2. 女性の活躍推進に向けたデジタル人材の育成推進について  政府は4月26日女性がデジタルスキルを身に付け、柔軟に働けるための「女性デジタル人材育成プラン」を取りまとめました。自治体における女性のデジタルスキル向上や就労の支援に「地域女性活躍推進交付金」で後押しするとしています。本市においても推進すべきと考え、ご見解をお伺いします。</p> <p>3. 横断歩道での一時停止率アップに向けた取り組みについて  信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている際の車両の一時停止率を日本自動車連盟が毎年調査しており、2021年の調査で青森県は14.00%で、全国ワースト3位でした。ドライバーのマナー向上と交通事故防止の観点から、本市でも積極的に取り組むべきと考え、ご見解をお伺いします。</p> <p>4. コロナ後遺症への対応について  コロナ後遺症は味覚障害や息切れ、脱毛といった身体的症状だけでなく、集中力の低下や抑うつなどの精神的症状も伴うといわれており、後遺症に関する理解を広げる必要があります。そこで本市の対応をお伺いします。</p> <p>5. 「リトルベビーハンドブック」の作成・配布について  リトルベビーハンドブックは、低出生体重児らの成長などを細かく記録できる冊子です。各種支援サービスや団体情報、発育曲線などに加え、先輩ママからの励ましや体験談なども載っており、不安を抱える母親たちに寄り添う内容になっています。  本市においても作成・配布すべきと考え、ご見解をお伺いします。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>6. グリーフケアに関する手引きの活用について</p> <p>厚生労働省はグリーフケアに関する手引きを作成し、活用を促す通知を4月8日に都道府県などに出しました。子どもをなくした家庭への配慮や支援、子どもの死に特化した相談窓口の設置などを要請していることから、本市においてのグリーフケアの推進について、ご見解をお伺いします。</p> <p>7. ヤングケアラー支援の強化について</p> <p>ヤングケアラーは報道で取り上げられることも増えてきましたが、まだまだ知られていないのが現状であり、社会的認知度を高めることが重要です。国の予算を活用して実態調査や福祉・介護・教育など関係機関への研修など、具体的な取り組みを前に進める必要があると考えます。本市のご見解をお伺いします。</p>



質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
文化振興問題	<p>当市の文化財について</p> <p>昨年7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録され、県ではこれら構成資産をはじめとする各種の文化財の保存・活用に関する取り組みを推し進めている。</p> <p>当市にも、縄文時代の貝塚や土器類、旧小川原湖民俗博物館収蔵の民具などのほか古くから伝承されている民俗芸能など、有形・無形の文化財が数多くあると認識している。文化財は、現代に受け継がれた貴重な文化遺産であり、地域の歴史や文化を理解するうえで欠かせないものとする。考える。「未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市」を基本理念に掲げる当市にとって、文化財を後世に積極的に伝承すべきと考えるところであり、以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 野口貝塚をはじめとする市内の遺跡や、これまで発掘された出土品等の保存・活用に関し、現状と今後の方向性について</p> <p>(2) 市が所蔵する国指定重要文化財「南部のさしこ仕事着コレクション」や六川目団体活動センターに収蔵している民具の保存・活用に関し、今後の方向性について</p> <p>(3) 市内に伝承されている民俗芸能の現状と課題について</p> <p>(4) 教育や観光等、地域振興における文化財活用への取り組みについて</p>